

ヒロイン

君の毎日に 僕は似合わないかな
白い空から 雪が落ちた
別にいいさと 吐き出したため息が
少し残って 寂しそうに消えた
君の街にも 降っているかな
ああ今隣で

雪が綺麗と笑うのは君がいい
でも寒いねって嬉しそうなのも
転びそうになって掴んだ手の
その先で
ありがとうって楽しそうなのも
それも君がいい

気付けばあたりは
ほとんどが白く染まって
散らかった事忘れてしまいそう
意外と積もったねと
メールを送ろうとして
打ちかけのまま ポケットに入れた
好まれるような 強く優しい僕に
変われないかな

雪が綺麗と笑うのは君がいい
出しかけた答え胸が痛くて

渡^{わた}し方^{かた}もどこに捨^すてればいいかも
分^わからずに
君^{きみ}から見^みえてる景^け色^{しき}に
ただ怯^{おび}えているんだ

思^{おも}えばどんな映^{えい}画^がを観^みたって
どんな小^{しょう}説^{せつ}や音^{おん}楽^{がく}だって
そのヒロインに重^{かさ}ねてしまうのは
君^{きみ}だよ
行^いってみたい遠^とい場^ば所^{しょ}で見^みたい
夜^よ空^{ぞら}も
隣^{となり}に描^かくのはいつでも
見^み慣^なれたはずの街^{まち}がこんなにも
馬^ば鹿^かだなあ僕^{ぼく}は

君^{きみ}の街^{まち}に白^{しろ}い雪^{ゆき}が降^ふった時^{とき}
君^{きみ}は誰^{だれ}に会^あいたくなるんだろう
雪^{ゆき}が綺^{きれい}麗^いだねって
誰^{だれ}に言^いいたくなるんだろう
僕^{ぼく}はやっぱ僕^{ぼく}は

雪^{ゆき}が綺^{きれい}麗^いと笑^{わら}うのは君^{きみ}がいい
でも寒^{さむ}いねって嬉^{うれ}しそうなのも
転^{ころ}びそうになって掴^{つか}んだ手の
その先^{さき}で
ありがとうって楽^{たの}しそうなのも
全部^{ぜんぶ}ぜんぶ君^{きみ}がいい